

〔備考〕

- 印は必修科目，×印は選択必修科目。
- △印は再履修授業科目を示す。
- ☆印は本年度にセメスターを変更した科目を示す。

〔履修要件〕

- 上位年次の授業科目は履修できない。ただし、基礎科目、関連科目については2年次からこの制限を設けない。また、在籍年次の科目の再履修クラスに限っては、上位年次で開講されていても履修できるものとする。
- 1年間に履修登録できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は26単位とする。ただし、第二外国語、選択英語、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教職に関する科目」については、この制限を適用しない。
- 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限がある。情報システム創成学科のクラス担任者と授業科目の担任者の許可が必要である。
- 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」と「卒業制作Ⅰ・Ⅱ」のどちらかを選択すること。これら科目の選択にあたっては、所属研究室の指導教員の許可を得て選択すること。
- 「プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ」「工学特別演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業制作Ⅰ・Ⅱ」については、それぞれの先行科目（ローマ数字の値が小さい科目）の単位を修得している場合に限って、後続科目の履修を許可する。
- 「微積分学入門」の履修は「微積分学Ⅰ」及び「微積分学Ⅱ」の未修得者に限る。ただし、「微積分学入門」を再履修することは認める。

〔コース制〕

- コースについては、1年次当初に決定する。
- コース変更は原則認めない。ただし、特別な理由がある者は、2年次進級時において申請により、変更を認める場合がある。

〔進級要件〕

卒業要件単位数に算入されない各種課程に関する科目及び教職関連科目の単位数は総単位数に含めない。

（1年次から2年次）

- 1年次終了までに、「FYS」の単位を含め、専攻科目のうちの基礎科目、必修科目及び外国語科目から15単位以上を修得していなければならない。

（2年次から3年次）

- 2年次終了までに、「ファーストイヤーセミナーⅡ（FYSⅡ）」「工学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の単位を含め、総単位数で62単位以上を修得していなければならない。

（3年次から4年次）

- 3年次終了までに、「工学特別演習Ⅰ・Ⅱ」及び「コースワークⅠ～Ⅵ」の単位を全て修得し、総単位数で98単位以上を修得していなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。また、これらの科目は各年次の履修制限単位数には含めない。

- 本学が主催、または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 入学年度	共通科目							専攻科目								合計		
	F Y S	外国語科目	教養系科目					共通科目合計	基礎科目			選択科目					関連科目	専攻科目合計
			キャリア形成科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野	健康科学の分野		必修科目	選択必修科目	選択科目	A群 (情報環工学)	B群 (最適化科学)	C群 (知能社会システム)	D群 (経営工学コース科目)			
2009から2011 年度入学	2	4	8					28	10	12	24	8	20	12	10		96	124

- 外国語科目としては、必修科目としての英語を4単位修得しなければならない。
- 選択科目から次の単位を含めて42単位以上を修得しなければならない。
 - A群から20単位以上。
 - B群から12単位以上。
 - C群から10単位以上。
- 専攻基礎科目で「卒業要件単位数」を超える単位は、関連科目の単位に換算できる。ただし、関連科目は卒業要件単位数に算入しない。
- 他学部、他学科開講の専攻科目及び同一言語同一名称の科目をⅠ・Ⅱのペアで修得した（必修以外）外国語科目は関連科目に換算できる。ただし、関連科目は卒業要件単位数に算入しない。

— 教育課程における標準年次の区切線について —

- 標準年次が実線（——）で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- 標準年次が破線（-----）で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、〔履修要件〕等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。

2015年度 工学部情報システム創成学科(経営工学コース)教育課程表 (2009年度から2011年度入学者に適用)

(学年は標準年次を示す)

専攻科目	基礎科目	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件 単位数																
		1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター			5セメスター		6セメスター		7セメスター		8セメスター									
		授業科目	単位数	担当者	授業科目	単位数	担当者	授業科目	単位数		担当者	授業科目	単位数	担当者	授業科目	単位数	担当者	授業科目	単位数	担当者						
基礎科目	必修科目	幾何学Ⅰ 物理学概説	○4 ○4	小林 林田	情報処理演習Ⅰ 物理学実験Ⅰ △幾何学Ⅰ △物理学概説	○1 ○1 ○4 ○4	日比野 *12 山崎 清水	△情報処理演習Ⅰ	○1	江口	△情報処理演習Ⅰ	○1	小林								10					
	選択必修科目	微積分学入門	×4	何森	微積分学Ⅰ	×4	矢島	微積分学Ⅱ	×4	永野	微積分学Ⅲ	×4	永野								12					
	選択科目	微積分学Ⅰ	×4	永野	△微積分学入門 微積分学Ⅱ △微積分学Ⅰ	×4 ×4 ×4	鈴木(友) 鈴木(友) 矢島	△微積分学Ⅰ 微積分学Ⅲ △微積分学Ⅱ	×4 ×4 ×4	永野 鈴木(友) 永野	△微積分学Ⅱ △微積分学Ⅲ	×4 ×4	鈴木(友) 永野	基礎化学Ⅰ 基礎化学Ⅱ	2 2	亀山 岩倉 矢崎	基礎化学Ⅱ	2	亀山 岩倉							
専攻科目	必修科目	情報システム基礎演習	○1	中島 高野倉	正総論	○2	松井	生産管理システム 人間工学 エレクトロニクス工学 工業英語Ⅰ 経営管理 プログラミング演習Ⅰ ロボット工作基礎 機電製図☆	○2 ○2 ○2 ○1 ○2 ○1 ○1 ○1 ○1	松浦 野村 山田 松崎 松丸 窪谷 高野倉 細川 細川	品管工学 技術者倫理 工業英語Ⅱ 制御プログラミング演習 △プログラミング演習Ⅰ	○2 ○2 ○1 ○1 ○1	秋葉 松田 山田 高野倉 休講	実験実習Ⅰ 経営工学演習Ⅰ 工業英語Ⅲ 知的財産権	○1 ○1 ○1 ○2	*1A *2A 山田 松崎 三品	実験実習Ⅱ 経営工学演習Ⅱ 工業英語Ⅳ	○1 ○1 ○1	*1B *2B 山田 松崎	卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	○4 ○4	*2A *2B		37		
		A群 (経営系)				マネジメントシステム設計論 生産マネジメント 原価工学	2 2 2	松浦 松浦 松丸						環境管理 サービスマネジメント マーケティング	2 2 2	中島 開沼 松井	環境経営 労働安全衛生 国際経営管理	2 2 2	森 宮内 高野倉				12 単位以上			
		B群 (管理技術)				カイゼン基礎工学	2	中島	産業人間工学	2	森	経済性工学 多変量解析	2 2	松丸 松丸	ユーザビリティ工学 サプライチェーンマネジメント 生産管理技法	2 2 2	久保 松丸 松井					10 単位以上				
	C群 (技術系)				自動化要素技術	2	熊谷(英)				計測工学 CAD	2 2	菅間 光山	先端製品製作技術 メカトロニクス制御工学演習	2 1	細川 熊谷(英)					6 単位以上					
	選択科目	D群 (情報システム創成コース科目)	コースワークⅠ	1	瀬古沢 秋吉 藤岡	コースワークⅡ	1	藤岡 秋吉 吉田	工学基礎演習Ⅰ コースワークⅢ 国際コミュニケーションⅠ OSと言語処理系 計算機基礎 数理統計Ⅰ 数理計画法 技術社会システム 計量マーケティング 生産自動化システム	1 1 1 2 2 2 2 2 2	*3 *4 *5 藤岡 瀬古沢 吉田 進藤 熊谷(巨) [休講] 桑野	工学基礎演習Ⅱ コースワークⅣ 国際コミュニケーションⅡ プログラミング演習Ⅱ アルゴリズムとデータ構造 マルチメディア 計量幾何学 数理統計Ⅱ 確率過程論 システム工学 企業経済学 計量マネジメント	1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2	*6 *7 *5 根岸 森田 西澤 今井 内田 奥野 吉田 成田 秋吉 [休講] 進藤	工学特別演習Ⅰ コースワークⅤ 国際コミュニケーションⅢ ネットワーク工学 ソフトウェアエンジニアリング ヒューマンインタフェース 数値情報処理 信頼性工学 会計情報処理 システム開発特別講義Ⅰ △プログラミング演習Ⅱ	1 1 1 2 2 2 2 2 2 1	*8 *9 *5 今井 萩原 [休講] 内田 奥野 秋吉 [休講] 瀬古沢 *10	工学特別演習Ⅱ コースワークⅥ 国際コミュニケーションⅣ 環境学 データベース シミュレーション工学 画像工学 複雑系の解析 設計学 制御システム ファイナンス工学 リスクマネジメント システム開発特別講義Ⅱ	1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2	*8 *11 *5 杉本 前田 根岸 杉本 杉本 瀬古沢 進藤 進藤 [休講] 秋吉					37 単位以上	
			ファーストイヤー セミナーⅡ	2	秋吉 内田 西澤	離散数学	2	[休講]																		
	関連科目				情報と倫理 情報と職業	2 2	前田 古川	応用数学Ⅰ	2	平田	代数学概論	2	伊東	代数学Ⅰ 関数論Ⅰ 量子物理学Ⅰ 統計物理学Ⅰ	2 2 2 2	東川 勝野 儀我 西野 客野	代数学Ⅱ 関数論Ⅱ 応用数学Ⅱ 量子物理学Ⅱ 統計物理学Ⅱ	2 2 2 2 2	東川 勝野 勝野 儀我 平田 野村 矢崎	商法概説Ⅰ 労働法	2 2	板垣 坂本	商法概説Ⅱ	2	板垣	

*1A 窪谷, 中島, 細川, 松井, 松浦, 松丸, 高野倉, 森, 光山, 高木
 *3 杉本, 秋吉, 井手, 熊谷(巨), 桑野
 *8 秋吉, 今井, 内田, 進藤, 杉本, 瀬古沢, 西澤, 藤岡, 森田, 吉田, 奥野, 井手, 熊谷(巨), 桑野
 *1B 窪谷, 中島, 中易, 細川, 松井, 松浦, 松丸, 高野倉, 森, 光山, 高木
 *5 エバンソン, 名生, ローソン
 *11 今井, 西澤, 奥野, 熊谷(巨)
 *2A 中島, 松井, 松浦, 松丸, 森
 *7 瀬古沢, 内田, 藤岡, 井手
 *2B 中島, 中易, 松井, 松浦, 松丸, 森
 *10 森田, 西澤, 奥野, 井手, 熊谷(巨)
 *12 西野, 相澤, 小原, 白井

〔備考〕

- 印は必修科目，×印は選択必修科目。
- △印は再履修授業科目を示す。
- ☆印は本年度にセメスターを変更した科目を示す。

〔履修要件〕

- 上位年次の授業科目は履修できない。ただし、基礎科目、関連科目について2年次からこの制限を設けない。
- 1年間に履修できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は26単位とする。ただし、第二外国語、選択英語、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教職に関する科目」については、この制限を適用しない。
- 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限がある。情報システム創成学科のクラス担任者と授業科目の担任者の許可が必要である。
- 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割当表の指示に従って受講すること。
- 「経営工学演習Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」については、それぞれの先行科目(ローマ数字の値が小さい科目)の単位を修得している場合に限って、後続科目の履修を許可する。
- 「微分積分学入門」の履修は「微分積分学Ⅰ」及び「微分積分学Ⅱ」の未修得者に限る。

〔コース制〕

- コースについては、1年次当初に決定する。
- コース変更は原則認めない。ただし、特別な理由がある者は、2年次進級時において申請により、変更を認める場合がある。

〔進級要件〕

- 卒業要件単位数に算入されない各種課程に関する科目及び教職関連科目の単位数は総単位数に含めない。
- (1年次から2年次)**
- 1年次終了までに、「FYS」の単位を含め、専攻科目のうちの基礎科目、必修科目及び外国語科目から15単位以上を修得していなければならない。
- (2年次から3年次)**
- 2年次終了までに、「制御プログラミング演習」の単位を含め、総単位数で62単位以上を修得していなければならない。
- (3年次から4年次)**
- 3年次終了までに、「経営工学演習Ⅰ・Ⅱ」の単位を含め、総単位数で98単位以上を修得していなければならない。

〔学外単位認定制度〕

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。また、これらの科目は各年次の履修制限単位数には含めない。
- 本学が主催、または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 入学年度	共通科目							専攻科目							合計				
	F Y S	外国語科目	教養系科目				共通科目合計	基礎科目			選択科目					専攻科目合計			
			キャリア形成科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野		健康科学の分野	必修科目	選択必修科目	選択科目	必修科目	A群(経営系)	B群(管理技術系)			C群(もの作り技術系)	D群(情報システム創成コース科目)	関連科目
2009から2011年度入学	2	4		4	6	4		28	10	12		37	12	10	6			96	124
			8										9						

- 外国語科目としては、必修科目として英語を4単位修得しなければならない。
- 選択科目から次の単位を含めて37単位以上修得しなければならない。
 - (1) A群から12単位以上。
 - (2) B群から10単位以上。
 - (3) C群から6単位以上。
 - (4) 上記(1) - (3)の他に選択科目から9単位以上。
- 専攻基礎科目で、「卒業要件単位数」を超える単位は、関連科目の単位に換算できる。
- 他学部、他学科開講の専攻科目及び同一言語同一名称の科目をⅠ・Ⅱのペアで修得した(必修以外)外国語科目は関連科目に換算できる。
- 関連科目は上記4、5の単位を含めて、4単位までを、上記3(4)の選択科目に換算できる。

教育課程における標準年次の区切線について

① 標準年次が実線(——)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。

② 標準年次が破線(-----)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、[履修要件]等にしながら履修できない授業科目もありえますので注意してください。